

正興電機グループ 2024年12月期 第2四半期決算概要

2024年8月9日

株式会社正興電機製作所

東証プライム 証券コード6653

1. 2024年12月期 第2四半期決算概要

電力部門において、情報制御分野や配電機器製品が堅調に推移したことや、サービス部門において太陽光発電所向け電気設備が増加し、売上高、利益とも計画に対し増加。
半期決算においては、売上高、各利益とも過去最高となる。

単位：百万円

	2023年 第2四半期 (1～6月)	2024年 第2四半期 (1～6月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	12,556	14,237	1,680	13.4%
営業利益	842	1,013	170	20.2%
経常利益	948	1,297	348	36.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	618	844	226	36.5%

売上高 (百万円)

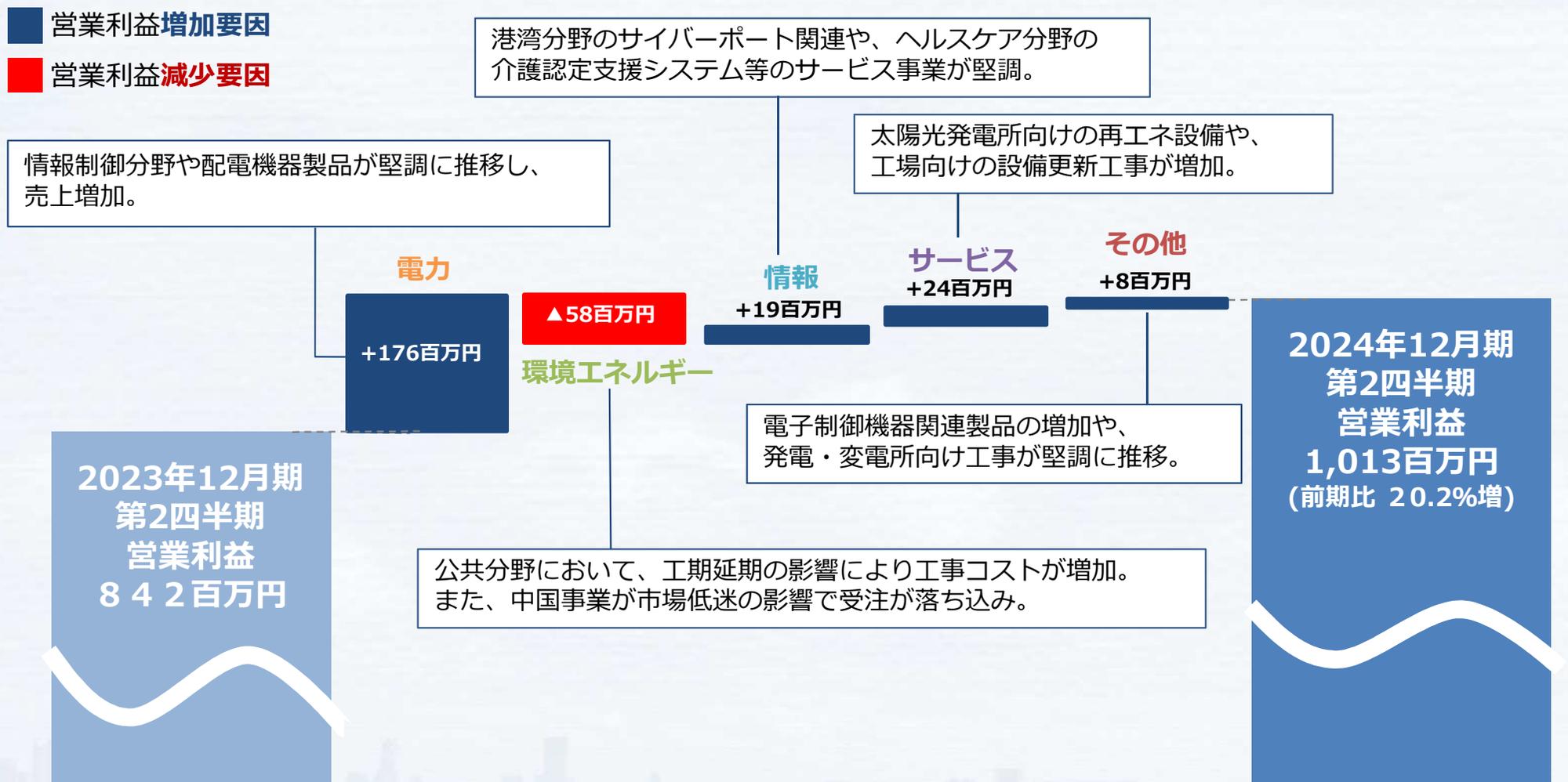


営業利益 (百万円)



2. 2024年12月期 第2四半期決算概要（営業利益の増減要因）

環境エネルギー部門が落ち込むも、電力部門の売上増加や、情報・サービス・その他の部門も堅調に推移し、**営業利益は対前期で20.2%増加**となる。

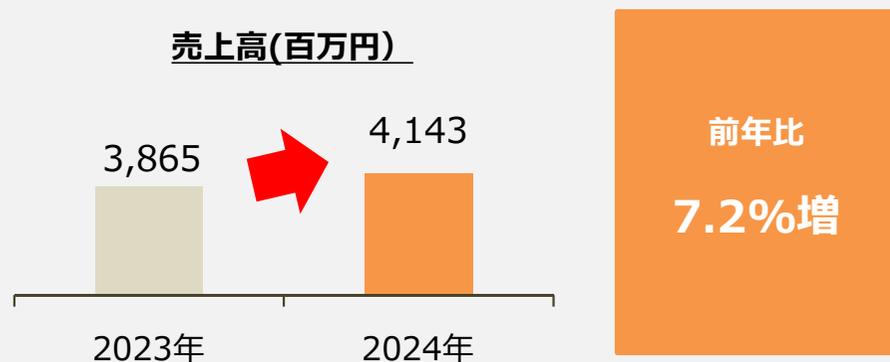


▶セグメント別業績 ①

<電力部門>

- ✓情報制御システム
- ✓受配電・制御装置
- ✓配電機器製品

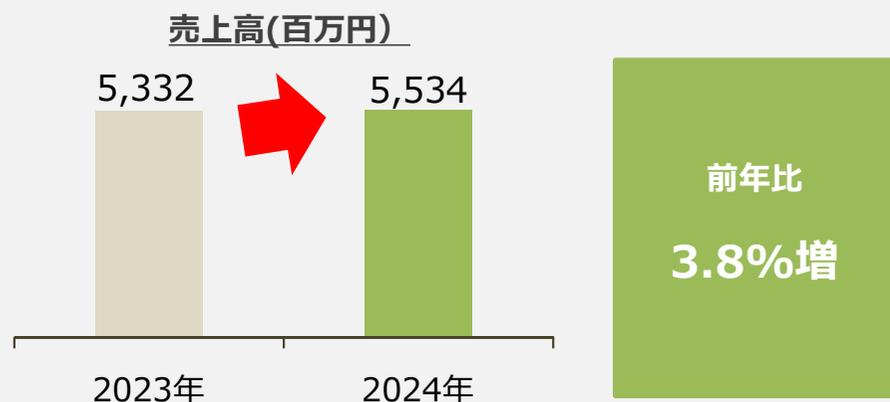
総合制御所向け等の制御システム（OT）やスマート保安システムが堅調
発電所・変電所向け受配電装置や制御装置が堅調
配電用開閉装置や更新用子局ユニットなどが増加



<環境エネルギー部門>

- ✓国 内
- ✓中 国

公共分野での工期延期による工事コスト増加の影響により利益が減少
中国市場落込みによる日系企業の設備投資抑制の影響で、受注・生産活動が低迷

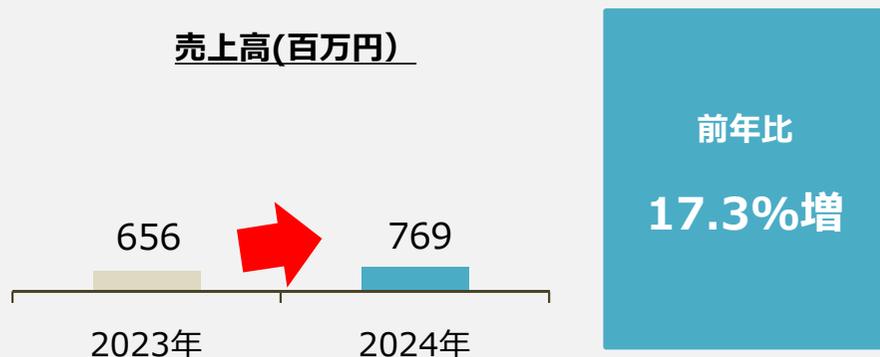


▶セグメント別業績 ②

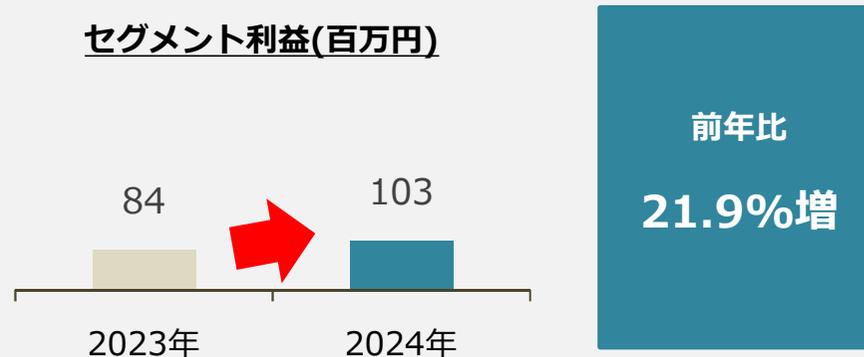
<情報部門>

- ✓サービス事業 港湾分野のスマート港湾（サイバーポート関連）や、ヘルスケア（介護認定支援システム）などが堅調
- ✓システム開発 国内の金融・エネルギー（電力・ガス）向けの業務システム開発が堅調に推移

売上高(百万円)



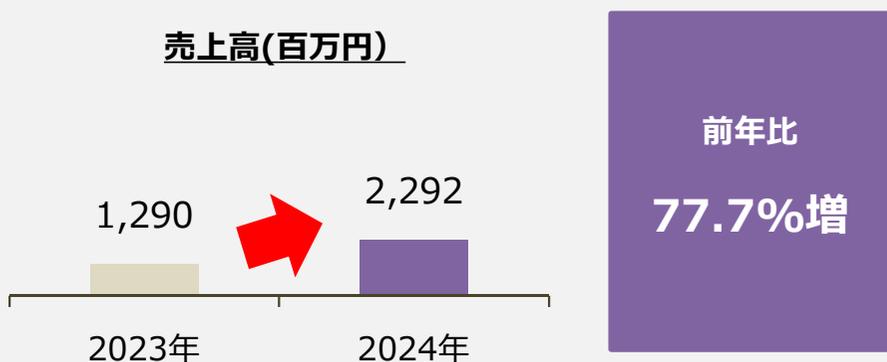
セグメント利益(百万円)



<サービス部門>

- ✓再エネ分野 太陽光発電所向け電気設備など再エネ関連製品が増加
- ✓産業分野 主要顧客向けの設備更新工事が増加

売上高(百万円)



セグメント利益(百万円)

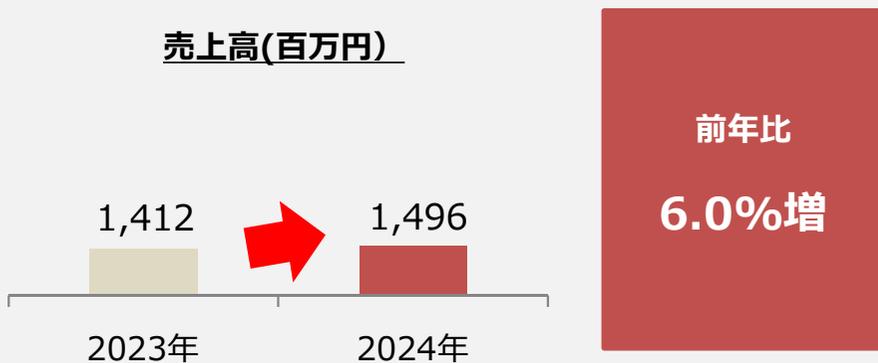


▶セグメント別業績 ③

<その他>

- ✓電子制御機器 国内の電子制御機器関連製品が増加
- ✓オプトロ オフィス市場（パーテーション）が堅調に推移
- ✓その他 電力会社の変電所、水力発電所向け工事案件が増加

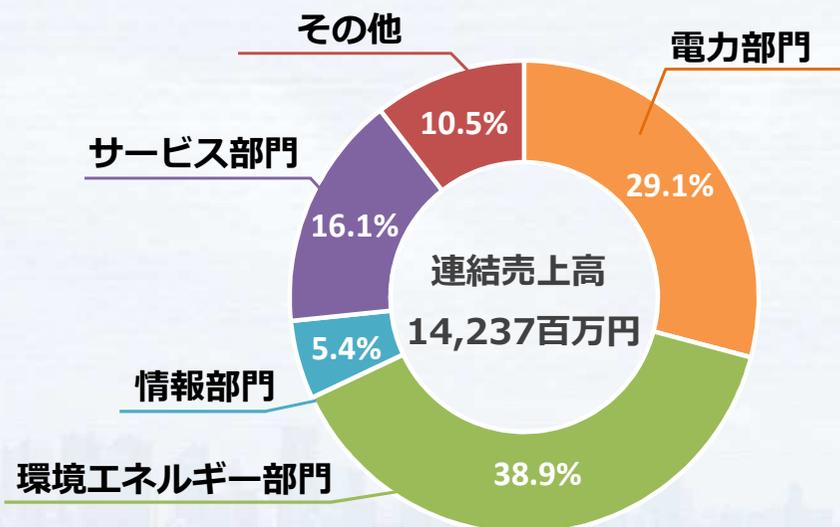
売上高(百万円)



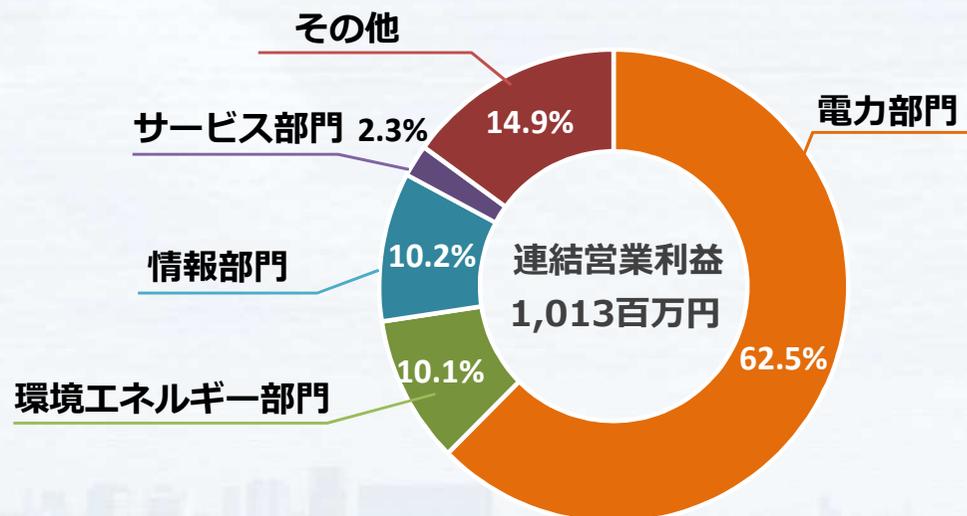
セグメント利益(百万円)



2024年12月期 第2四半期売上高（部門構成比率）



2024年12月期 第2四半期営業利益（部門構成比率）



3. 連結キャッシュフロー

単位：百万円

	2023年 12月期第2四半期	2024年 12月期第2四半期	増減額	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	3,091	2,770	▲321	・大口案件の仕入増加
投資活動による キャッシュ・フロー	▲162	▲5	157	・遊休資産の売却 ・正興電気建設の本社ビル建築
財務活動による キャッシュ・フロー	▲3,413	▲2,247	1,166	・短期借入金の返済
現金及び現金同等物の期 末残高	1,844	2,796	952	

4. 2024年12月期 通期業績予想

通期業績においては、電力部門、情報部門やその他（エレクトロニクス）が堅調に推移していること、また、環境エネルギーにおいても改善が見込まれることから、期首の計画通り、売上高300億円、営業利益20億円を見込む。

単位：百万円

	2023年 12月期	2024年 12月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	27,071	30,000	2,929	10.8%
営業利益	1,622	2,000	378	23.2%
経常利益	1,816	2,050	234	12.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,202	1,350	148	12.3%

単位：百万円



▶2024年 重点成長分野① ◆デジタルファースト

スマート保安ソリューション

エネルギー・鉄道・産業・プラント



ガス会社



電力会社



再エネ



鉄道



プラント工場



港湾

スマート保安システム



遠隔設備監視システム



操作支援システム



巡視点検ロボット



物品管理システム

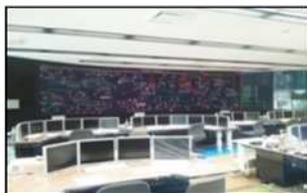
AIクラウド クラウドAIサービス



エッジクラウドイングAI



電力系統 監視・制御システム



中国電力ネットワーク（株） 殿

変電所一括監視システム：設備の巡視・点検・事故対応業務のシステム化

九州電力送配電（株） 殿

遠隔設備監視システム、現地操作支援システム、巡視点検ロボット

電源開発送変電ネットワーク（株） 殿

巡視点検ロボット：電力設備のメータ読取り等の巡視点検業務

中部電力パワーグリッド（株） 殿

現地操作支援システム：変電設備の保全業務内での安全操作

四日市市上下水道局 殿

自動監視・警戒システム：AIによる河川の水位監視

関西電力（株） 殿

巡視点検ロボット：電力設備のメータ読取り等の巡視点検業務



スマート港湾ソリューション

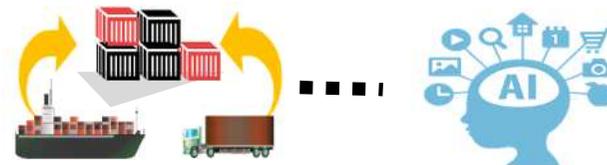
■ 港湾業務クラウドサービス



サイバーポート（国土交通省）

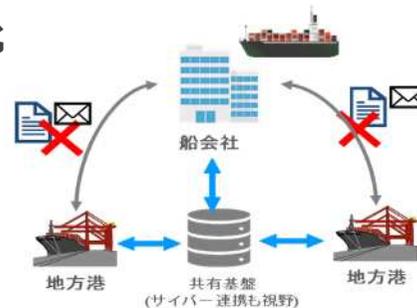
■ 荷役自動AIターミナル

AIによる蔵置・オペレーションの自動化・最適化



■ ペーパーレス化

船会社と地方港のペーパーレス、DX化で業務効率UP



■ 安全・事故ゼロソリューション

港湾労働者の安全性向上、労働環境の改善、事故抑止



ヘルスケアソリューション

■ 健康DX転倒防止アプリ「KOKEN」の開発

スマートフォンを活用し、セルフチェックと体力測定の結果を、会社と社員双方で把握することができます。

社員の健康意識向上と体力に合った業務マッチングに活用することで、転倒など労働災害防止にも貢献します。



健康管理ソリューションで健康経営をサポート



Health-Ledger

生活習慣データの一元管理と見える化を実現

■ 健康管理の見える化



健康診断生活習慣データ

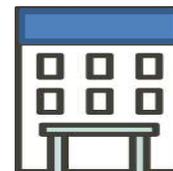


■ ウェアラブル端末、健康機器との連携健康ポイント



ウェアラブル端末との連携 (fitbit社製)

■ 健康経営サポート、介護認定支援クラウド



企業・自治体



産業医業務支援

▶2024年 重点成長分野③

◆脱炭素（カーボンニュートラル）

企業の脱炭素・省エネ・BCPに貢献

■独自のパワエレ技術を活用した再エネシステム

ソーラーカーポート



太陽光発電システム



V2X

蓄電システム



再生可能エネルギー発電所

■電源・監視制御技術で発電設備の安定運用に貢献



メガソーラー



風力発電



小水力発電



太陽光発電監視システム



特別高圧受変電設備



拠点監視システム

蓄電システム

■大容量・中容量蓄電システムの開発



再生可能エネルギー



大容量・中容量電池システム



大規模蓄電所



データセンター

5. 株主還元①

● 配当予想

中間配当金は20円を実施。年間配当金についても40円と増配を予定。

	1株当たりの配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
2023年12月期	17.5円	17.5円	35円
2024年12月期	20円	20円	40円



(注) 2016年・・・創立95周年記念配当 2円
 2017年・・・東証第二部上場記念配当 2円
 2018年・・・東証第一部銘柄指定記念配当 2円
 2021年・・・創立100周年記念配当 5円

5. 株主還元②

● 株主優待制度

当社では、株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝し、当社株式の保有株式数に応じて、以下のとおり株主優待制度を設けております。

(1)対象となる株主さま

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上保有の株主さまを対象といたします。

(2)株主優待の内容

以下の基準により、クオ・カードを贈呈いたします。

保有株式数		優待内容	
100株以上	300株未満	クオ・カード	500円分
300株以上	500株未満	クオ・カード	1,000円分
500株以上	1,000株未満	クオ・カード	2,000円分
1,000株以上	10,000株未満	クオ・カード	3,000円分
10,000株以上		クオ・カード	5,000円分



※クオ・カードのデザインは変更される場合があります。

(3)贈呈時期

毎年3月開催の定時株主総会招集ご通知に同封してご送付いたします。

〈参考資料〉

▶ 会社概要

社是：最良の製品・サービスを以て社会に貢献す



代表取締役社長 添田 英俊

1955年福岡市生まれ
2018年より現職



本社

商号

株式会社 正興電機製作所（証券コード6653）

本社

福岡市博多区東光二丁目7番25号

創業

1921年（大正10年）5月（創業103年）

資本金

26億721万7,518円

売上高

連結270億円（2023年12月期）

従業員数

連結1,001名（2023年12月期末現在）

拠点

福岡本社・古賀事業所・東京支社ほか国内17か所

国内子会社 4社

海外子会社 4社（大連・北京・マレーシア・フィリピン）

海外支店・事務所 3か所（北京・シンガポール・ハノイ）

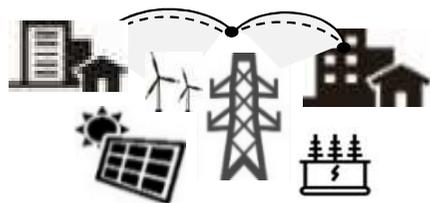
▶ 会社概要 【沿革】

創業103年



▶ 会社概要 【事業内容】

正興グループは、情報と制御の独創技術により
幅広い分野で**社会インフラ**を支えています



電力・エネルギー



公共施設



産業



交通



港湾・銀行

スマート保安ソリューション

カーボンニュートラル

設備の最適運用・
高度化

効率化・
省力化・生産性向上

再エネ・省エネ

安心・安全

社会課題解決

デジタル

脱炭素

One 正興

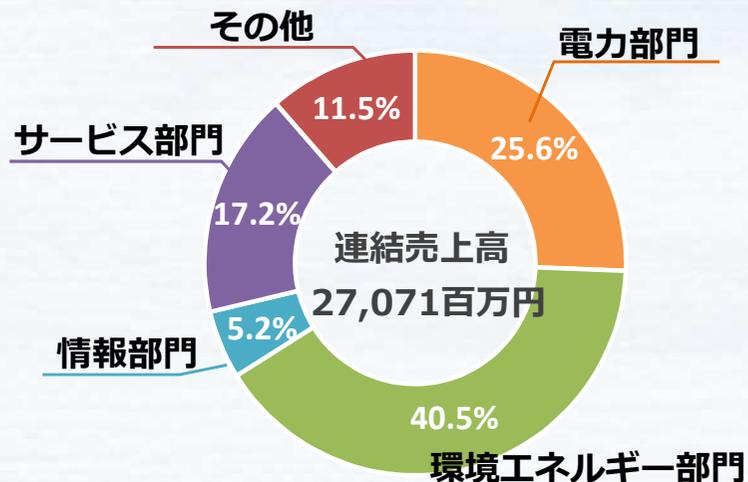
IT（情報）×OT（制御）×プロダクト
最新のデジタル技術（AI・IoT）

▶ 会社概要 【正興グループ事業体制】

【事業部門】



2023年12月期 売上高 (部門構成比率)



売上高推移



営業利益推移



5. IC2026 中期経営計画

中期経営計画 SEIKO IC2026 (2022~2026)

基本方針：サステナビリティ経営

企業活動・事業活動を通じた社会課題解決により、
サステナブルな社会の実現に貢献する

重点課題①

デジタルファースト

デジタル技術を活用した社会課題解決

重点課題②

脱炭素社会の実現

カーボンニュートラルへの取組み

重点課題③

One 正興

グループ総合力の発揮

業績目標 2026年12月

売上高 **400**億円 営業利益 **36**億円 営業利益率 **9.0%**

▶トピックス①

- 「健康経営優良法人2024ホワイト500」に継続認定
「2024健康経営銘柄」に初選定



2024年3月11日、
「健康経営優良法人（大規模法人部門）」の上位500法人である「ホワイト500」に継続認定され、2024年には経済産業省と東京証券取引所の共同による「健康経営銘柄」にも初めて選定されました。

- 健康DX転倒防止アプリ「KOKEN」の開発

スマートフォンを活用し、セルフチェックと体力測定の結果を、会社と社員双方で把握することができます。

社員の健康意識向上と体力に合った業務マッチングに活用することで、転倒など労働災害防止にも貢献します。



▶トピックス②

●(株)ドーガンが運営する「ドーガンMGX 投資事業有限責任組合」に出資

株式会社ドーガンが運営する

「ドーガンMGX投資事業有限責任組合(2024年7月23日設立)」へ出資しました。

今後、同ファンドとの活動を推進するとともに、出資を通じて、GX事業に取り組む事業会社や金融機関、公的機関とのチャネル構築や、新たなGXに関するノウハウの吸収、当社のパワーエレクトロニクス技術(蓄電システム)による「EV導入の促進」に関わる事業分野への展開を図ってまいります。

「ドーガンMGX投資事業有限責任組合」は7月30日、福岡県の北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進構想に賛同し、「北部九州地域の電動車開発・生産拠点の形成及びCASEに対応したサプライヤー集積に向けた連携協定」を締結しました。



7月30日 締結式風景

▶トピックス③

●社会貢献（まちにわプロジェクト福岡）

正興電機グループは、地域、学校、自治体などの皆様とまちの新たな景観づくり、花や緑のある持続可能なまちづくりの活動を推進しています。

<2024年 開催イベント>

2024年3月 8日 一人一花スプリングフェス

2024年6月 2日 「東光のまちにわ」春のうきうきワークショップ

2024年7月27日 「東光のまちにわ」夏祭り



(注記)

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。

従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。

実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。